

平成30年度

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

管内事業概要



十勝オホーツク自動車道



元稲府漁港



潜淵川 (ケシヨウヤナギ)

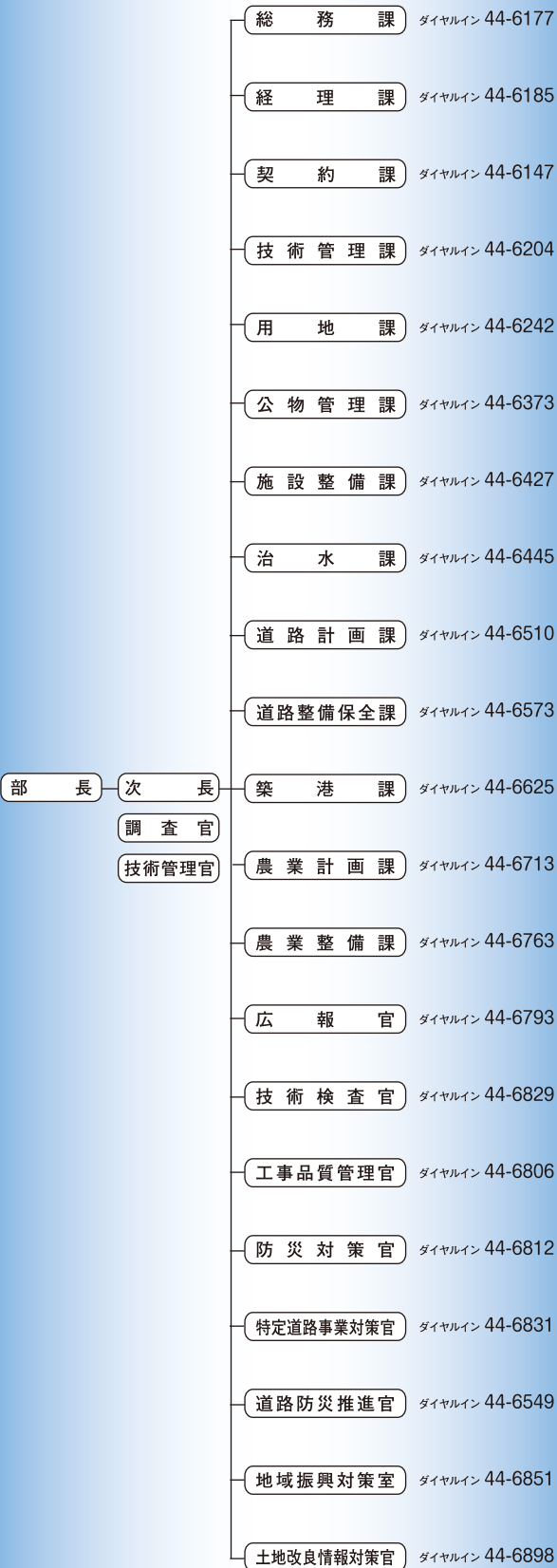


津別地区 (国営農地再編整備事業)

網走開発建設部の機構

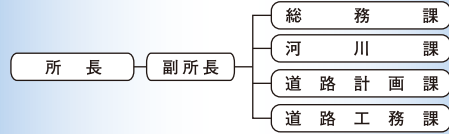
本部

●網走開発建設部 代表電話 0152-44-6171 (夜間・休日等)
〒093-8544 網走市新町2丁目6番1号



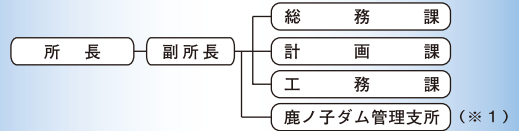
事務所

●遠軽開発事務所 代表電話 0158-42-2181
〒099-0404 紋別郡遠軽町大通北7丁目

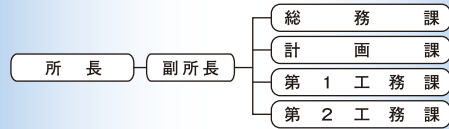


●北見河川事務所 代表電話 0157-23-6118
〒090-0802 北見市田端町71番地

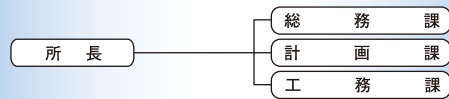
●鹿ノ子ダム管理支所 代表電話 0157-54-2341
〒099-1254 常呂郡置戸町字常元 (※1)



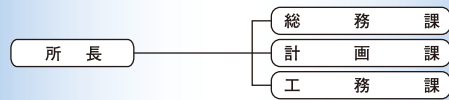
●北見道路事務所 代表電話 0157-36-2281
〒090-0838 北見市西三輪5丁目9番地1



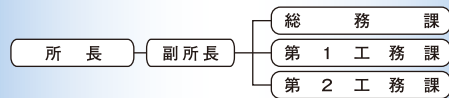
●網走道路事務所 代表電話 0152-43-4328
〒093-0045 網走市大曲1丁目6番3号



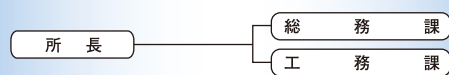
●興部道路事務所 代表電話 0158-82-2155
〒098-1603 紋別郡興部町字興部120番地の2



●網走港湾事務所 代表電話 0152-44-5251
〒093-0032 網走市港町3番

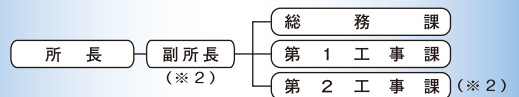


●紋別港湾事務所 代表電話 0158-23-5281
〒094-0003 紋別市弁天町1丁目2番10号

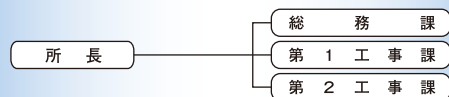


●北見農業事務所 代表電話 0157-36-2371
〒090-0837 北見市中央三輪7丁目446番地の62

●雄武分庁舎 代表電話 0158-84-4601
〒098-1702 紋別郡雄武町字雄武1504番32 (※2)



●網走農業事務所 代表電話 0152-44-6940
〒093-8544 網走市新町2丁目6番1号



道路緊急ダイヤル #9910

全国共通番号
24時間受付

道路の異状 (雪崩・道路施設の破損・道路の穴ぼこ・樹木等倒壊物・落下物・落石) に迅速に対応します。

治水事業

1. 世界に目を向けた産業の振興～農林水産業・食関連産業の振興～

- 河道掘削土を農地へ有効活用（常呂川）
平成28年8月洪水を受け、緊急的な治水対策「北海道緊急治水対策プロジェクト」を推進しており、常呂川では再度災害防止を目的とした河道掘削を実施しています。河道掘削土で発生した土砂は、被災した農地に有効活用することで、農地の早期復旧に役立ちます。



農地復旧状況



復旧後状況 (畑地利用)

2. 強靱で持続可能な国土の形成 ～強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成～

◆ 河川改修

- 網走川
近年頻発する洪水被害を防止軽減するため、河道の掘削を実施し、治水安全度の向上を図るとともに、河川防災ステーションの整備を推進することで、円滑な河川管理施設の保全活動や緊急復旧活動の強化を目指します。
- 常呂川
近年頻発する洪水被害を軽減するため、堤防の天端保護を実施し、堤防決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫します。
- 湧別川
近年頻発する洪水被害を防止軽減するため、堤防の浸透対策を実施し、治水安全度の向上を図ります。
- 渚滑川
近年頻発する洪水被害を防止軽減するため、河道の掘削を実施し、治水安全度の向上を図ります。



大空町河川防災ステーション
(完成予想図)



湧別川の浸透対策状況
(堤防断面拡大工法)

◆ 河川維持修繕

安全・安心な河川の機能維持のため、堤防除草や河川巡視・点検を行うとともに、既存施設が機能発揮するよう、必要な河川構造物の補修、設備の更新を行うなど、地域との連携及びコスト縮減に努めつつ、的確な河川の維持管理を実施します。



堤防除草の状況

◆ 河川工作物関連応急対策

河川構造物の機能が、その前後の施設に比べて劣る場合に、応急的に改良工事を実施します。

- 網走川
老朽化や塩害により機能低下している特殊堤コンクリート矢板の補修を実施します。



網走川特殊堤の補修完了状況

◆ 堰堤維持

- 鹿ノ子ダム
各施設・設備の点検整備、観測・操作及び流木処理などの維持管理を実施します。



◆ 河川災害復旧等関連緊急事業

- 常呂川
平成28年8月台風により甚大な被害を受けたことを踏まえ、「北海道緊急治水対策プロジェクト」として再度災害防止のため河道掘削を実施します。



常呂川の河道掘削状況

平成30年度 治水事業の概要

事業別	地区別等	事業の概要
河川整備事業	河川改修	網走川 河道掘削、堤防天端保護等
		常呂川 堤防天端保護等
		湧別川 浸透対策等
		渚滑川 河道掘削等
河川維持修繕	網走川、常呂川、湧別川、渚滑川	堤防管理、河川巡視、水閘門維持管理等
河川工作物関連 応急対策	網走川	特殊堤コンクリート矢板補修等
堰堤維持	鹿ノ子ダム	各施設・設備点検整備、観測・操作、流木処理等
河川災害復旧等 関連緊急事業	常呂川	河道掘削等

都市水環境整備事業

強靱で持続可能な国土の形成 ～恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成～

- 網走かわまちづくり
住民、企業、行政が連携し、その地域の河川が有している歴史や文化あるいは優れた景観を備えた貴重なオープンスペースを活かすことで、観光振興や健康増進等により地域活性化に貢献する「まちと水辺が融合した良好な空間形成（かわまちづくり）」を推進します。



整備イメージ



四季折々の川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等の川に関する情報を効果的に発信するなどし、地域住民や観光客の水辺利用や周遊等をサポートするとともに、地域の取り組みのネットワーク化を図り、地域の賑わいづくり・観光振興に貢献する「かわたび北海道」プロジェクトを推進します。

平成30年度 都市水環境整備事業の概要

事業別	地区別等	事業の概要
総合水環境整備事業	網走地区	河川管理用通路整備等

道路事業

第8期北海道総合開発計画に基づき、主要施策である「食料供給基地としての持続的発展」、「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成」及び「強靱な国土づくりと安全・安心な社会基盤の形成」を推進するための道路事業を行います。

オホーツク圏はすぐれた資源（農水産物、観光、自然）がありますが、他圏域とのアクセスを妨げる峠部が存在し、冬期は流氷により海路が閉ざされる中、近年多発する暴風雪や台風などの自然災害が大きな課題となっています。

こうした状況を改善するため、高規格幹線道路等の整備、防災対策など安全・安心で豊かな暮らしを支える道づくりを進めます。

1. 食料供給基地としての持続的発展及び世界水準の観光地の形成を目指す地域社会の形成

◆ 高速交通ネットワークの形成

道央・道北圏域とオホーツク圏域の交流促進、物流の効率化、観光の活性化を支援する高規格幹線道路「旭川・紋別自動車道」等の整備を進めて、高速交通ネットワーク形成を図ります。

◆ 「生産空間」を支える「道の駅」の活用・充実

北海道の地方部に広域に分散している「生産空間」を維持するために、「道の駅」を地域の拠点として活用した取り組みを推進します。

◆ 多様な人材の確保・対流の促進

地域の魅力・課題に精通した地元住民等と協働して、道路の機能・役割を最大限発揮させることを目指す「協働型道路マネジメント」を推進します。



E39 旭川・紋別自動車道
丸瀬布遠軽道路



国道334号真鯉道路（防災対策）



国道333号路肩改良（交通安全対策）



除雪作業

2. 「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成

◆ 外国人ドライブ観光の推進

外国人旅行者の急増、個人旅行化に対応するとともにレンタカーを利用するドライブ観光を推進するため、多言語化による道路情報提供や観光地へのわかりやすい案内標識等の充実、快適なドライブを演出する良好な景観形成に取り組みます。

◆ 「シーニックバイウェイ北海道」の推進

ドライブ観光を推進する「シーニックバイウェイ北海道」において、地域の魅力ある道路景観が観光目的となるよう、秀逸な道等について、ドライブ観光客への情報発信・誘導、景観の重点的保全等の取り組みを推進します。

● 観光地へのわかりやすい案内にむけて

多くのオリンピック選手を輩出しているカーリング専用屋内施設「カーリングホール」へのわかりやすい案内とするため、国道238号の交差点において、「カーリングホール」を表示した交差点名標識を改善。



● 除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上

除雪機械の熟練オペレーターの減少等、除雪を取り巻く課題の解決のため、産学官民が連携して、準天頂衛星による車位置把握等、高度化された除雪車の開発を段階的に行い、生産性・安全性向上を推進します。



3. 強靱な国土づくりと安全・安心な社会基盤の形成

◆ 防災対策の推進

安全・安心な信頼性の高い道路ネットワークを確保するため、道路の防災対策を推進します。

◆ 道路施設の老朽化対策

点検結果に基づいた措置を計画的に実施することによりメンテナンスサイクルを推進するとともに、長寿命化を目指し適切な修繕を実施する地方公共団体に対して技術支援等を実施します。

◆ 無電柱化の推進【電線共同溝】

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点から、地域住民や電線管理者等と連携し、無電柱化を推進します。

◆ 交通安全対策の推進

事故データや地域の声、ビッグデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間等を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）」を推進します。

◆ 冬期道路交通の安全確保と暴風雪災害時におけるきめ細やかな地域支援

安全で円滑な冬期道路交通の確保を図るため、気象条件や交通状況等を踏まえて適切なタイミングで除排雪作業を実施します。

また、関係機関で組織する道路防災連絡協議会で相互の連携強化を図るとともに、暴風雪災害時には除雪機械の貸付やリエゾン（注）の派遣による災害関連情報の共有等の自治体支援体制の構築を継続的に実施します。

（注：重大な災害の発生又は発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として自治体へ派遣する職員）

平成30年度 道路事業の概要

路線名	主要事業
国道39号	【北見大通電線共同溝】（H30新規） 【北見本町電線共同溝】（電線共同溝の整備推進）
国道238号	【紋別防雪】（防雪対策整備推進）
国道333号	【生田原道路】（地域高規格道路の整備推進）
国道334号	【真鯉道路】（防災対策の整備推進）
E39 旭川・紋別自動車道 （国道450号）	【丸瀬布遠軽道路】（高規格幹線道路の整備推進）
国道39号ほか	交通安全・交通事故対策の整備推進 交差点改良： 国道243号 美幌町稲美（H30新規） 視距改良： 国道240号 津別町相生 国道273号 滝上町滝上第5区 国道333号 佐呂間町大成 国道334号 斜里町日の出 路肩改良： 国道239号 興部町宇津（H30新規） 国道242号 置戸町北光 国道273号 滝上町滝下（H30新規） 国道333号 北見市仁頃 中央帯整備： 国道39号 北見市留辺藪 国道39号 北見市石北（H30新規） 老朽化・防災対策の整備推進 橋梁修繕： 国道39号北見市ほか トンネル修繕： 国道333号北見市 防災対策： 国道243号美幌町ほか 舗装修繕： 国道39号北見市ほか

港湾整備事業

オホーツク圏は安全で良質な農水産物の供給基地であり、管内港湾は、農水産物の物流など背後地域の生活・産業を支える拠点として、また、沖合、沿岸漁業の基地として重要な役割を担っています。

平成30年度は、第8期北海道総合開発計画に示された施策を推進するため、「世界に目を向けた産業の振興」、「強靱で持続可能な国土の形成」に向けた基盤整備を重点的に取り組みます。

本地域の食料供給力の強化を図るため、その物流拠点としての港湾整備に取り組み、海上輸送の安全性と安定性の向上を図ります。更に、新たな輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応するための港湾整備に取り組み、品質向上、輸出競争力強化を図ります。また、既存ストックの有効活用を図り、豊かで質の高いウォーターフロント空間づくりを進め、世界水準の観光地の形成に貢献します。

◆ 網走港

新港地区において、港内の静穏度を向上させ、船舶の安全な利用を確保するため、南防波堤の改良を行います。

川筋地区において、安全、安心な荷役環境を確保するため、老朽化が著しい水深3.0m物揚場の改良を行います。

本整備により、プレジャーボート等の小型船舶が安全に利用され、本施設を含む「みなとオアシス網走」エリアでの交流機能等が高まり、地域活性化にも寄与します。



網走港新港地区 南防波堤



紋別港港町地区 水深4.0m西物揚場改良

◆ 紋別港

港町地区において、安全、安心な荷役環境を確保するため、老朽化が著しい水深4.0m西物揚場の改良を行い、荷役活動の効率化を図ります。

また、屋根付き岸壁整備により、商品価値を向上させ、輸出競争力の強化を図ります。

平成30年度 港湾整備事業の概要

事業区分	港湾名	地区名	事業の概要
港湾改修事業	重要港湾 網走港	新港地区 川筋地区	南防波堤改良 水深3.0m物揚場改良
	重要港湾 紋別港	港町地区	水深4.0m西物揚場改良

水産基盤整備事業

オホーツク管内の第4種漁港は、オホーツク海を漁場とする沖合・沿岸漁業の生産・流通拠点及び避難拠点として重要な役割を担っています。

平成30年度は、第8期北海道総合開発計画を踏まえ「世界に目を向けた産業の振興」強靱で持続可能な国土の形成」を重点項目とし、「国産水産物の衛生管理や安定供給のための基盤強化対策」[災害に強い漁業地域づくりのための漁港施設の防災・減災対策]を重点的に推進します。また、漁港施設の長寿命化を図るための岸壁などの補修を行います。

◆ ウトロ地区

漁業活動の安全を確保するため、防波堤の整備を推進します。

◆ サロマ湖地区

サロマ湖のホタテガイ漁業を支える湖口航路として、漁船の安全な航行を確保するため、航路などの整備を推進します。

◆ 元稲府地区

漁業活動の安全を確保するため、防波堤の整備を推進します。

◆ 北海道第3種及び第4種漁港地区

ウトロ漁港、能取漁港及びサロマ湖漁港の長寿命化を図るため、防波堤の補修・調査などを行います。



サロマ湖漁港(第2湖口工区)水深4.5m航路浚渫

平成30年度 水産基盤整備事業の概要

事業区分	地区名	事業の概要
特定漁港漁場整備事業	ウトロ地区 (第4種ウトロ漁港)	外郭施設：島防波堤、西防波堤(改良)
	サロマ湖地区 (第4種サロマ湖漁港)	【第2湖口工区】 外郭施設：護岸(航路西)護岸(航路東) 東防砂堤 水域施設：水深4.5m航路
	元稲府地区 (第4種元稲府漁港)	外郭施設：北防波堤
	北海道第3種及び 第4種漁港地区	【ウトロ漁港ウトロ工区】 輸送施設：道路(補修) 【ウトロ漁港知床岬工区】 係留施設：水深4.0m岸壁(補修) 【能取漁港湖口工区】 外郭施設：防波堤(防水補修) 【サロマ湖漁港第1湖口工区】 外郭施設：防波堤(防水補修)

「世界の北海道」を目指して —北海道総合開発計画—

これからの北海道の戦略

「食」「観光」が戦略的産業

- 人口減少時代にあっても、
- ①北海道には世界と競争し得るポテンシャル
 - ②アジアなど世界の市場が拡大傾向

農林水産業、観光等を担う「生産空間」を支え、「世界の北海道」を目指します

次の10年(新計画)の重点取組

- (1) 交通ネットワーク強化と重層的な機能分担
 - 北海道新幹線
 - 空港・港湾
 - 高規格幹線道路網
 - 等
- (2) 農林水産業の競争力・付加価値向上
- (3) 世界水準の観光地域づくり
- (4) 地域づくり人材の発掘・育成



農業農村整備事業

管内では、畑作と酪農を主体とした大規模な土地利用型農業や水田、野菜作など多様な農業が展開されています。農業農村整備事業では、北海道の食料供給力を向上させ、農業の持続的発展を図るため、畑地かんがい、排水改良及び区画整理による生産基盤の整備を促進します。このため、8地区の事業実施と2地区の地区調査及び基幹的農業用排水施設の長寿命化に向けた調査等を実施します。

◆ 国営かんがい排水事業

排水能力向上のため、美女地区の事業を推進します。農業用水の安定供給と排水改良のため、兵村地区の事業を推進します。農業用水の安定供給のため、網走川中央地区の事業を推進します。

◆ 国営施設機能保全事業

排水施設の機能を保全するため、宇遠別川地区の事業を推進します。

◆ 国営施設応急対策事業

用水施設の機能を保全するため、西網走地区の事業を推進します。排水施設の機能を保全するため、八十士地区の事業を推進します。

◆ 国営農地再編整備事業

大区画化や乾畑化など、ほ場条件を改善するため、津別地区の事業を推進します。

◆ 国営緊急農地再編整備事業

大区画化等を通じた優良農地の確保のため、雄武丘陵地区の事業を推進します。

◆ 調査計画

事業計画樹立のため、北見二期地区及び常呂川下流地区の調査を行います。

◆ 諸調査

地域の農業農村整備構想の策定及び営農推進状況把握のため、各種調査を行います。

また、基幹的農業用排水施設の長寿命化を図ることを目的とした機能診断調査等を行います。



美女地区東幹線排水路



雄武丘陵地区北幌内13工区 区画整理

平成30年度 農業農村整備事業の概要

1 実施地区

事業種別	地区名	関係市町村名	受益面積 (ha)	事業の概要
国営かんがい排水事業	美女地区	美幌町 大空町	1,728	排水機場1カ所、排水路4条
	兵村地区	湧別町	1,313	用水路1条、排水路2条
	網走川中央地区	美幌町 大空町	2,289	頭首工1カ所、用水路4条
国営施設機能保全事業	宇遠別川地区	斜里町 清里町	4,188	排水機場1カ所、排水路15条
	西網走地区	網走市	2,855	用水路3条
国営農地再編整備事業	八十士地区	紋別市	601	排水路河口施設1式
	津別地区	津別町	2,433	農地造成8ha 区画整理2,425ha
国営緊急農地再編整備事業	雄武丘陵地区	雄武町	3,663	区画整理3,663ha

2 調査計画地区

調査名	地区名	関係市町村名	受益面積 (ha)
国営地区調査	北見二期地区	北見市	2,813
	常呂川下流地区	北見市	575

多様な人材の確保



シーニックバイウェイ北海道

～東オホーツクシーニックバイウェイ～

～層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ（候補）～

シーニックバイウェイ北海道は、みちをきっかけに地域住民と行政とが連携をし「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」を目指し活動をしています。

網走管内では、「東オホーツクシーニックバイウェイ」がルート指定され、「層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ」がルート指定を目指して候補ルートとして活動しており、それぞれの団体が「みち」を活かした魅力ある地域づくり、景観づくりに取り組んでいます。



東オホーツクシーニックバイウェイの取組



層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイの取組

冬の景観を確保するための住民による除雪(知床)

地元住民等と協働して、歩道等を除雪することにより、観光ニーズの高い流水景観の眺望スポットを創出。

(平成27年度 手づくり郷土賞 国土交通大臣(一般部門)受賞)



歩道等の除雪作業

冬道の安全を確保するための住民による砂まき(紋別)

地元住民等と協働して、冬道の安全性確保を目的として、ペットボトルへの砂詰め活動及び砂詰めペットボトルの配布活動を実施し冬道の安全を確保。



砂詰めペットボトルの配布



みなとオアシス

みなとオアシスとは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設として登録を受けたもので、管内では『みなとオアシスあばしり』と『みなとオアシスもんべつ』の2カ所が登録されています。

『みなとオアシスあばしり』では、『みなと観光交流センター』や周辺に位置する施設等を活用し、市民・観光客に対し交流・レクリエーションスペースを提供し、中心市街地と連携したイベントの開催などを行っています。

『みなとオアシスもんべつ』では、ガリヤ地区を中心にみなとの賑わい創出、交流・ふれあい空間づくりを目指して様々な活動を行っています。平成30年8月にはSea級グルメ全国大会も開催されることになっており、全国に向けて紋別港のPR活動を行います。



Sea級グルメ全国大会in魚津「ホタテみそ焼きうどん」に並ぶ行列



「わが村は美しくー北海道」運動

運動の目的

「わが村は美しくー北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするために2001年にスタートしました。それぞれの地域に大切なもの「地域の資源」を掘り起こし、地域の活力を高める活動を広くアピールし、豊かな北海道を未来へと受け継いでいくことを目的としています。

取組の一環として2002年から2年に1度コンクール形式で優秀な活動を表彰しています。

第8回コンクール【優秀賞】株式会社 知床ごんた村(斜里町)



ビニールハウス内のミニトマト



～小学生の食育体験ビザ作りの様子～

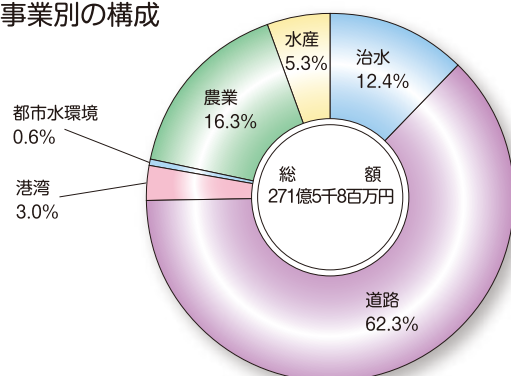
網走ブロックの活動団体の紹介は以下のURLからご覧ください。
http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/toti_kairyuu/v6dkjr0000001gjl.html

平成30年度 事業費総括表

事項	平成30年度予算額
治水	33億5千6百万円
道路	169億9千3百万円
港湾整備	7億9千4百万円
都市水環境	1億5千4百万円
農業農村整備	44億2千7百万円
水産基盤整備	14億3千5百万円
合計	271億5千8百万円

※農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない。
なお、四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

事業別の構成



※四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

管内の概況

位置・気候

管内の西部を南北に北見山地、南部を東西に千島火山帯が走り、北東部は280kmにわたってオホーツク海に接し、3市14町1村で構成されています。

気候は、冬期間の寒さは厳しいものの比較的穏やかで、年間平均降水量が800ミリ程度と少なく、日照時間に恵まれた地域です。

沿岸部ではおおむね1月下旬から3月にかけて、オホーツク海特有の流氷により海面が覆われます。しかし、地球温暖化の影響を受け、近年は減少傾向となっています。



能取岬と流氷（網走市）

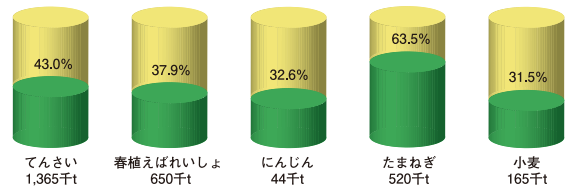
産業

農業 管内の農業は、畑作と酪農を中心とした大規模農業が展開され、我が国の総合食料基地として重要な役割を担っており、耕地面積は16万6,400haと全道の14.5%（平成28年）を占めています。

畑作物では、寒冷地に適したてんさい、春植えばれいしょ、たまねぎと小麦を中心とした野菜類が主に作付けされています。また、畜産では、酪農、肉用牛生産が中心となっています。

出典：オホーツク振興局「オホーツクの農業2016～統計編～」

主な農産物の道内生産量シェア（H28）



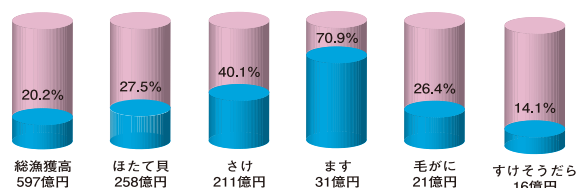
出典：農林水産省 作物統計調査（平成28年）

水産業 管内の水産業は、オホーツク海沿岸を漁場とするほたて貝けた網漁業、さけ定置網漁業並びに沖合海域を漁場とする沖合底引き網漁業を中心に営まれています。

平成28年のオホーツク管内の漁業生産は全道の20.2%を占め、数量で17万4千トン、金額で597億円となっています。

出典：北海道水産林務部「平成28年北海道水産現勢」

総漁獲高と上位5品目の道内シェア（H28）



出典：北海道水産林務部「平成28年北海道水産現勢」

商工業 管内の工業は、食品製造業、木材・木製品製造業など第1次産業に関連した地場資源利用型工業が主体ですが、携帯電話端末の主力拠点工場が立地するなど、最先端技術を用いた製造業も重要な位置を占めています。

製造品出荷額（平成28年）は、3,788億円（全道比5.8%）となっており、そのうち食料品の出荷額が2,656億円（同12.0%）と70.1%を占めています。

また、管内の商業では、年間商品販売額（平成26年）が6,692億円（全道比4.1%）となっています。

出典：経済産業省「平成26年商業統計調査」 北海道総合政策部「平成28年経済センサス北海道」

林業 森林面積は、平成29年4月1日現在、769,429haで管内総面積の72.0%を占め、全道森林面積の13.9%に当たり、所有比率は、国有林56.0%、道有林14.0%、市町村林4.4%、私有林25.6%となっています。

総蓄積は、142,291千m³で全道森林蓄積の17.9%を占め、道内の主要な木材生産地となっています。

樹種別蓄積量は、トドマツ・エゾマツ・カラマツ類等の針葉樹が64.1%、ナラ類・カンバ類・シナノキ等の広葉樹が35.9%となっています。

出典：北海道水産林務部「平成28年度北海道林業統計」

観光 管内には、世界自然遺産に登録された知床と阿寒摩周の2つの国立公園、ラムサール条約登録湿地の湧沸湖を含む網走国定公園のほか、2つの道立自然公園があります。山岳、湖、海などの豊かな自然景観とともに流氷、サンゴ草など他の地域には見られない四季折々の多彩な観光資源に恵まれています。

管内を訪れる観光客の入り込み数は、836万人（平成28年度）となっており、夏型のイベントに加えて、流氷や冬のスポーツを利用した冬型のイベントも各地で盛んに行われています。

出典：北海道経済部観光局「各年度北海道観光入込客数調査報告書資料編」

管内の総入込数及び外国人宿泊客の延人数の推移

